

ACT NEWS

エー・シー・ティー ニュース

こんにちは！ACTニュース編集部です。昨年度も新型コロナウイルス感染症対策として、スケジュールやプログラムの変更などの試行錯誤をしながら、安全で安心できるACTの実施に取り組んでいました。いま、できることを、できるだけ。それでは令和3年度に実施された湯河原町3小学校でのACTを振り返りましょう。

ACT NEWS 第9号 2022年4月発行 発行元：湯河原町教育委員会・特定非営利活動法人 まなびとくらし

小学校でのACT

小学校のACTは中学校と同様に、わたし（自分自身）と、あなた（他者）と、みんな（グループ・クラス＝社会）と向き合う、コミュニケーションをテーマとする芸術体験を通じたワークを実施しています。小学校での3回は生きていくことの根幹となる、感覚・感性・表現をめぐる学びの下地をつくりたいと考えています。

6年生「うれしいってどんな色？」

湯河原小学校 10月26日
東台福浦小学校 11月16日
吉浜小学校 11月18日



6年生の1回目は10月と11月に実施しました。嬉しい時の気持ちを絵で表現してみます。思い出した気持ちからどんな雰囲気や色を思い浮かべるのか。その感性を抽象画という技法を通して「表に現して」みる。表現は生まれながら誰しもしていること。お腹が空いた赤ちゃんは泣きます。誰だって嬉しいときはニッコリします。辛い時に誰かに向ける、友だちのいつもと少し違う表情。それも表現です。だから表現はみんなに必要なもの。恐れたり、めんどくさがったりしちゃいけません。

みんなの感想は「思いっきり描けて気持ち良かったです」「自由に表すのは、簡単だけど難しいって時もあることを知りました。でも楽しい！」「自分のうれしい気持ちを紙に描いて、自分では気づかなかったけどこんな感じなんだなあと思いました。自分のことが少しわかったかも？」「無心で絵が描けるし、自分の”今”思ったことを言葉でなく絵で描くというのがいいと思った」「友達と自分の描いた絵を見せ合ったりして、どこがいいのかとか褒め合うのがいいなあと思いました」「今日は自分の感情を描いてスッキリしました。ストレス解消になりました」「今回の抽象画は正しい答えがなかったので、すごく自由に描くことができて良かったです」「なんかとてもリラックスできて良かったです！」「幸せなイメージ、うれしいイメージで描いていたら、本当にうれしい気持ちになってきて、すごいことなんだなあと思いました」「自分の気持ちはこんなにも自分で分かっていないんだと思いました」「絵を見せあった友達やACTの人たちにほめてもらえて嬉しかったです」などなど。

6年生「ふちどって！」

東台福浦小学校 3月 8日
湯河原小学校 3月18日
吉浜小学校 実施見送り



感染拡大防止対策として、今年のマシュマロチャレンジは延期に。小学校最後のACTはひとりで黙々と作業を進めるワークを実施しました。ある図形をオイルパステルでひたすらふちどっていただけなのですが、その線と線の間はできるだけ隙間ができないように、丁寧にふちどっていきます。最後に仕上がったものを全員分黒板に並べて鑑賞。同じ形をふちどるだけの同じ作業をしているだけなのに、出来上がったものはバラバラ。どれひとつとして同じものはありません。そのバラバラ具合を視覚的に体感してもらいました。

個性とは人との違いそのもの。良いも悪いもありませんし、わたしがそれを望もうと望まないと必ずあるものです。人は時に「個性ってすばらしい」なんて気軽に言いますが、その個性が自分を幸せにすることもあれば、苦しめることもあるのです。だから自分や他者の個性は大切に、丁寧に扱わなければいけません。

みんなの感想には「自分には個性があって人それぞれ違うのはわかっていると思っていただけ、思っている以上に難しいものなのだと思います」「たまに自分の個性が嫌になることがあるけど、これからは大切にしていきたいです」など、ふっと立ち止まって自分や周りを見つめるような言葉がありました。

5年生「耳をすますとわかること」

東台福浦小学校 3月 4日
湯河原小学校 3月15日
吉浜小学校 6年生で実施

はじめまして！の5年生。導入部では1分間の「沈黙をつくる、静寂を聞く」のワークを実施。遠い音、小さい音に耳を傾けます。

心も身体も良い具合にくつろぎ、感度も上がった状態になったら、グループに分かれて校内の音探しの旅に出る「GO OTO トラベル」。多くの児童がくらしの中心である学校の音風景や自分を取り巻く世界に対して傾聴する姿勢を見せ、真剣に耳を傾けていました。また、そこ再発見したことを楽しそうに講師や友人に伝えようとしていました。



聞いている風景は同じだけど「何が聞こえてきたのか」は、人それぞれ。なので、たったひとりにしか聞こえない音もあれば、みんなが共感を持って頷く音もあるのです。すべての人が同じものを同じように感じているわけではない、という「当たり前な不思議」を共有する時間となりました。

みんなの感想には「静かに座ったり、歩いたりすることで心臓の音が聞こえたり、外に行った時に風が体に当たる感じがして不思議でした」「見えていても目がないと分からないし、音が聞こえていても目で確かめないと分からないことがあると思った」「1分間の静かな時間の時、自分が世界の真ん中にいると思ったら本当に何かが聞こえてきました」「いつもは聞こえない音が聞けたので楽しかったです」「世界には様々な音があるんだなと思いました」「自分は感じたのに人は感じていないとか、その逆があったりとか知ることができて良かったです」「耳をすまして音を聞くとリラックスできている感じがしました」など、感性豊かな言葉がたくさん書かれていました。